

第4章 計画の推進に当たって

第1節

計画の推進に向けた視点

(1) 市民起点による取組の推進

将来都市像の実現のためには、市民一人一人の尊厳が守られ、安心安全に暮らし、生涯にわたり、学び、挑戦し、活躍できる地域の確立を目指していくことが必要となります。

そのための市政運営に当たっては、市民の立ち位置に身を置き、暮らしや地域の実相を見つめる中で、課題の本質を的確に見極め、知恵を絞り、工夫を重ねながら有効な解決策を見出していくことが重要となります。

このことから、まちづくりの主役となる市民と情報を共有し、対話を通じて共感を得ながら政策・施策を遂行するなど、市民を起点とした取組を進めていきます。

(2) 連携、協働・共創の推進

社会経済環境の急速な変化に伴い、地域が抱える課題が複雑化・多様化する中、その解決に向けては、行政だけではなく、様々な主体がそれぞれの役割の下、得意分野をいかし、相互に連携しながら対応していくことが必要な事案が増えてきています。

こうした公共的課題の解決のためには、行政はもとより、市民・事業者・団体・地域など、多様な主体が、協力して共に働くという「協働^{*}」の視点、さらには、目標設定の段階から連携を深め、実践的な行動を通じて、共に新しい価値を創っていく「共創^{*}」の考え方を持ち合わせながら、取組の実効性や持続性を高めていくことが重要となります。

このことから、人や地域のつながりを、より強固なものとしながら、多様な主体が手を取り合い、連携を深め、協働・共創のまちづくりを進めていきます。

第2節

計画の進捗管理

本計画の実効性、即応性を高めるため、施策ごとに成果を表す指標を設定し、計画・実施・評価・改善のPDCAサイクル^{*}を通じて、施策・個別事業の取組状況の評価を行い、進捗管理を行います。

なお、持続可能な行財政運営に向けた取組と整合を図るため、「第7次行政改革推進計画」、「第3次財政計画」及び「第4次定員管理計画」と一体的な運用を図ります。

第3節

計画の評価検証

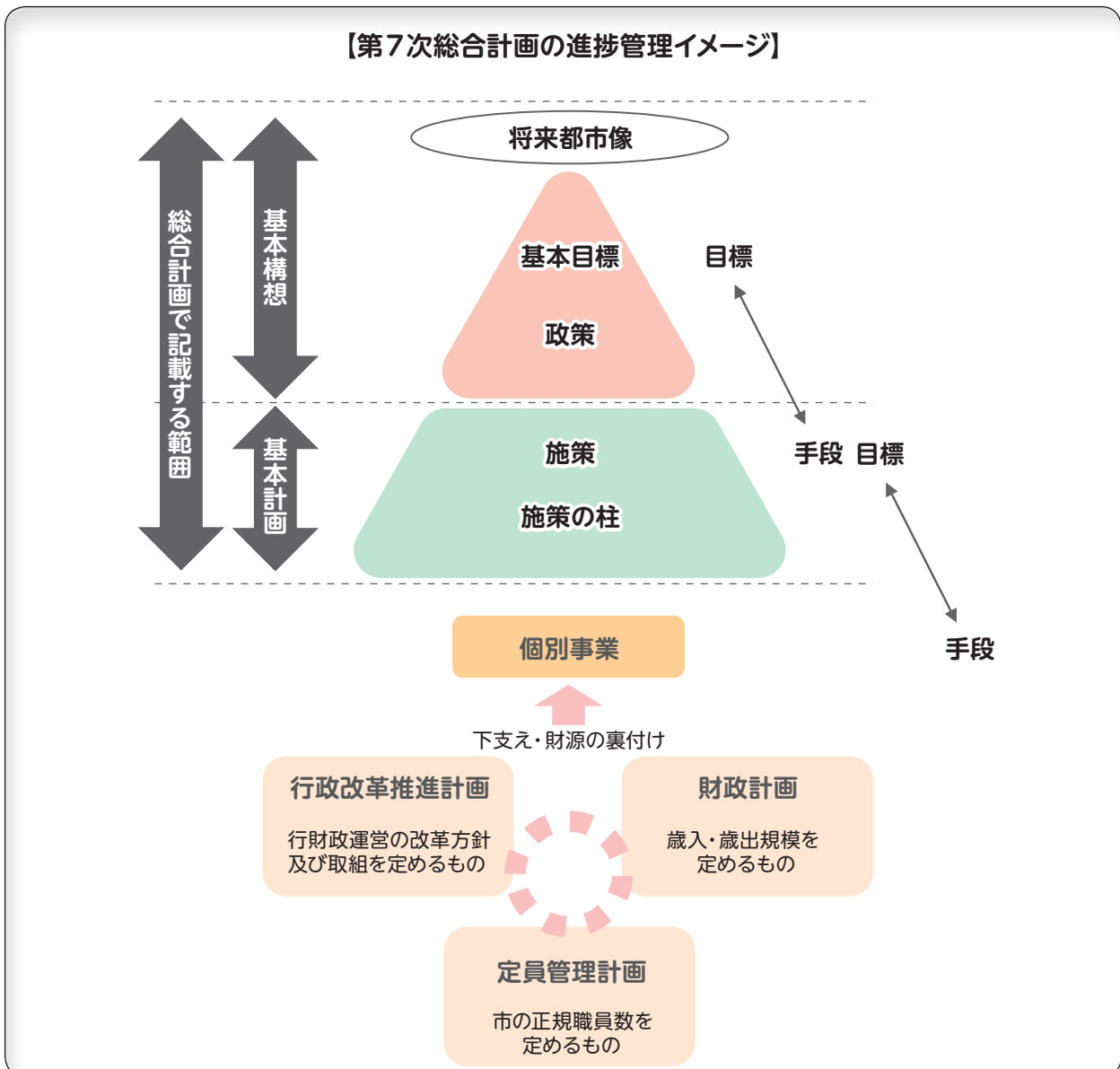
本計画における基本計画（前期及び後期）の計画期間終了時には、毎年度の進捗管理における施策・個別事業の評価、指標の達成状況、「市民の声アンケート」の結果等を踏まえ、本計画に掲げる政策・施策の成果に対する評価検証を行います。

第4節

各種個別計画の管理

本計画は、市政運営の総合的な指針となる当市の最上位計画であることから、各種個別計画は、本計画が示す基本構想、基本計画の考え方を的確に反映する必要があります。

今後、個別計画を新規に策定する場合は、本計画の内容に即して策定するとともに、既存の個別計画については、必要に応じて適切な見直しを行い、本計画と整合を図ります。



冬 - Winter -



①高田城址公園西堀橋 ②高田城址公園三重櫓 ③灯の回廊(牧区) ④小林古径記念美術館
 ⑤高田小町 ⑥灯の回廊(安塚区) ⑦レルヒ祭 ⑧大月の棚田(牧区) ⑨金谷山公園レルヒ像
 ⑩二本木駅(中郷区) ⑪春日山城跡

「#止越もよう」
 My Favorite Joetsu

序論

基本構想

基本計画

資料